

春爛漫の丘の峯

勿來の關のそよ風に 散りし櫻を惜しみつつ 山田氏の作曲で錦中学に校歌

錦町錦中学校(校長佐川武夫氏)では、校歌作詩を元東京大学教授文学博士高田陶軒氏に依頼して、この程出来上り、作曲家山田耕作先生に作曲を依頼、近日中に完成の豫定で、校長先生を始め全生徒は大喜びである。次はその校歌である。

一、太平洋の波濤けて昇る朝陽に照りはゆる
警城の松の若翠
友よ歌はむ意氣高く
二、春爛漫の丘の峰
勿來の關のそよ風に
散りし櫻を惜しみつつ
駒を停めし人や誰ぞ
三、伊具の山に
あかねさし

ハエ、カの一掃に 平保健所で主任會議

平保健所管内各保健所主任會議は十八日午前九時から平保健所會議室で開かれた。

學生競争書の審査員に 湯本長谷川主事委嘱さる



湯本長谷川主事委嘱さる

船喰虫の繁殖と防除

海上保安大学教育 千葉 新治

底曳漁船も今月末をもって終了となり、各漁船とも九月の開港日まで川や、陸に上陸して船体の整備に當ることになるが、木造船の命と船食いの虫対策は未だ研究の途上であり、確立された防虫薬も持たぬが、海上保安大学第三室教官千葉新治氏(警城市永崎出身)はこのほどその研究資料を本社宛次により特別寄稿して来た。

はしがき
本造船及び機橋等が海中棲息微小動物(フナグイムシ等)によつて穿孔蝕害されることは昔より知られた事実であるが、今日に至るまで決定的な防除策がなく、このため世界各地の港湾、漁村が蒙る損害は莫大な金額にのぼり、海運関係者の頭痛

協議され、近く街頭に出して一般に啓蒙運動を行うことになった。

ブリ漁本調に 丸高大敷活気づく

十八日小名浜漁場は半月ぶりに地元大敷船による釣約一千貫と小タイ、小アジなどが水揚げされて浜荷された。

交通事故頻発 三輪車転落して重傷二件

十八日午前六時半市北目町常盤路農協組合(組員長水井誠氏)所有のオート三輪車、運転手松本政義(三六)は平市神

酔つて大暴れ 植田署 傷害現行犯で御用

十六日午前一時ごろ、箱田町大倉安藤鐵男(二二)田町番所下松島屋(谷平)伊(三〇)さん方、酒をのんでいた植田町田字里塚一〇〇〇番安藤鉄男(二二)他三名は酔つた勢いで店に居合せた久

同乗者が 重傷負う

十七日午後十時頃平市一丁目常盤ヤマダK三輪車、運転手鎌田岩雄(二四)は平市谷川瀬地内飯

大浦でも幼 児轢かる

十七日午後五時頃、石城郡大浦村上仁井戸字松葉

植田の音楽 鑑賞会

植田町のレコードコンサートは同町菊地時計店が主催となつて十九日午後七時より植田町公民館に於いて開かれる。

常磐市でも ジュビター会

常磐市文化協会がジュビター会では、来る二十日午後六時半より湯本公民館に於いてレコードコンサートを開く、曲目はジュビター交響曲、スペイン交響曲、その他解説は数馬卓氏である。

御商談 静かなお座敷

常磐市文化協会がジュビター会では、来る二十日午後六時半より湯本公民館に於いてレコードコンサートを開く、曲目はジュビター交響曲、スペイン交響曲、その他解説は数馬卓氏である。

大和田ミシン商会

月払2,000円より御相談に應じます

求む 下宿人

美麗四室 六疊二間 四疊半二間 電話有り 場所 警城市下横町 閑静な一室八疊 諸設備完備 場所 警城市須賀町 委細面談 姓名 在 社

産婦人科

常磐名産 小名浜産 久保田産 久保田産 久保田産

大の旅館

警城市沖見町 電話三七番

久保田産

小名浜産 久保田産 久保田産 久保田産

産婦人科

常磐名産 小名浜産 久保田産 久保田産

大の旅館

警城市沖見町 電話三七番

久保田産

小名浜産 久保田産 久保田産 久保田産

白鳥醫院

小名浜臨港前
電話七三五番

産科
婦人科

大和田ミシン商会

御いさい
御下さい
御用下さい
御利小電

月払2,000円より
御相談に應じます

求む 下宿人

美麗四室 六疊二間 四疊半二間
電話有り
場所 警城市下横町
閑静な一室八疊 諸設備完備
場所 警城市須賀町
委細面談
姓名 在 社

産婦人科

常磐名産 小名浜産 久保田産 久保田産

久保田産

小名浜産 久保田産 久保田産 久保田産